

ふ か だ
深田のぼる 後援会ニュース

議場の中だけに留まらない、様々な活動について紹介します

市議会議員として議会や委員会に出席する他にも、議員の立場で様々な活動をしています。最近取り組んでいる、いくつかの活動を紹介します。

1. 「中学校部活動のあり方検討会」の設立



少子化による生徒の減少、それに伴う教員の減少により、部活動の数や種類が減っています。また、教員の多忙化や、顧問として指導するための専門性の確保の難しさなども、大きな課題です。

少子化や地域による生徒数の偏在は、まだ続く見込みです。「生徒の成長に有益である部活動の経験が出来るよう、住む地域に関わらず、やりたい部活をやる環境を整える」ための検討を、有志の校長先生・教員・事業者等と一緒に進めています。



2. 小学生児童が過ごす放課後の環境づくり



保護者が働いて家にいない児童の居場所である、放課後児童クラブの運営改善を進めています。公平性の観点から問題であった、クラブにより異なる対象児童の基準見直しは実現できました。全国的にも最も低い水準である閉所時間についても、18時閉所からの30分延長を目指して動き続けています。

また、長期休みにおける行政・学校・地域総がかりでの居場所づくりも必要です。既存施設への児童館機能実現、学校図書館の開放、子ども教室との連携、地域内での居場所づくりなどを模索しています。

3. 議会活性化に向けた活動

議会活性化等特別委員会の委員長として「市民への報告会、市民との意見交換会」、「議会のICT化」、「その他活性化に資すること」の調査研究を進めています。11月12日（日）には、議会で行う報告会・意見交換会の形を探るため、市民の協力を得ての試行をしました。

主義・主張の異なる議員の集合体である議会としての活動という難しさはありますが、活性化に資する取り組みをまとめ、提言していきます。



深田のぼるよりひとこと

いくつかの活動を紹介しました。「人任せ、行政任せにしないこと」、「現場を見て声を聴くこと」、「丁寧に議論を積み重ね、あるべき形を導き出していくこと」、「議論するだけに留めず、実行まで結び付けていくこと」、こうした基本的な考え方はどの活動も変わりません。引き続き、様々な課題に飛び込んでいきます。

ご意見・ご要望がありましたら、後援会事務局までご連絡ください。

